

# 「楽しく学ぶ 小学生の地図帳 4・5・6年 最新版」 指導書のご紹介

帝国書院では、新しく発刊となった「楽しく学ぶ 小学生の地図帳 4・5・6年 最新版指導書」(以下 指導書)を以下のような構成で発刊いたしました。十二分にこの指導書をご活用頂きたく、内容をご紹介させていただきます。

## 1.活用の場面を想定し、使いやすさを追究した4分冊

先生方が指導書を必要とする場面を想定、場面で使いやすいように、右のような4分冊にいたしました。

今回の指導書の大きな特徴は、これまで地図帳のみの活用事例の紹介にとどまっていた「活用編」で、社会科の教科書の事例に合わせた活用方法を提示したことです。

また、都道府県学習に資する豊富な「ふろく」を用意いたしました。都道府県の形に着目させるカード集など、これまでにない豊富な内容となっております。以下に、各編の簡単なご紹介を記しました。

### ①都道府県学習・国学習編

各都道府県の特徴を観点ごとに整理。

### ②地名解説編

地図帳の大切な地名や、主題図の解説を掲載。

### ③活用編

教科書の授業展開例をまとめて、その中で地図帳を活用する場面と方法を例示。

### ④ふろく

47都道府県や日本・世界全図白地図、フラッシュカード、データのCD-ROMを用意。

## 2.各編の解説



### ① 都道府県学習・国学習編

この編では、各都道府県の特徴をわかりやすく解説しています。p.25愛知県のページを例に、具体例を提示いたしました。

日本全体から見た愛知県の位置や特徴をわかりやすく解説しています。愛知県の持つ他県と違った特徴等を読みとらせる方法を提示しています。

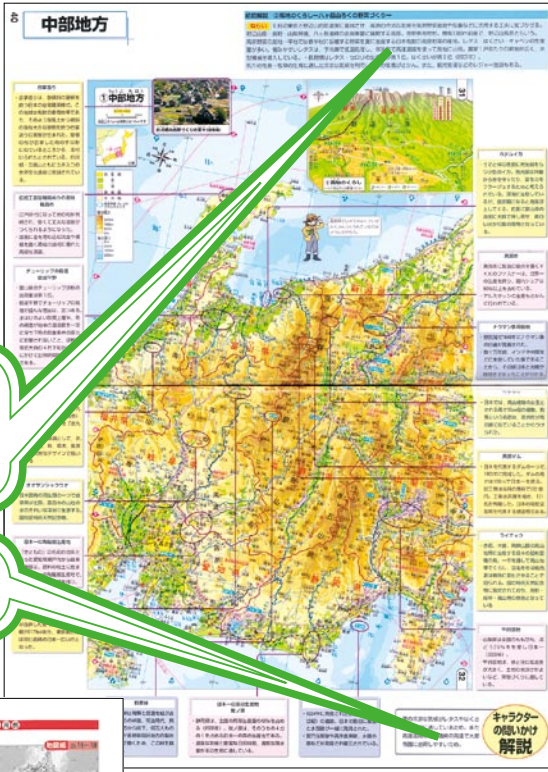
愛知県の拡大図から読みとれる、社会科に関する以下のことがらを、ひとつひとつ丁寧に解説しています。項目としては、地形・交通・産業・歴史・環境・伝統文化・政治などが挙げられます。これによって、都道府県の指導の際に幅広い県の特徴を説明することができます。

## ② 地名解説編

この編では、地図帳に掲載されているポイントの解説を行います。p.40～41中部地方を例に具体例を提示いたしました。

地図の中にあるイラスト絵図や歴史地名などをわかりやすく解説しています。また、ここはという、押さえておきたい地名に関するエピソードなども豊富に掲載いたしました。

キャラクターの問いかけに対するこたえや、分図・鳥瞰絵図の見方などをわかりやすく解説しています。



授業展開例にあわせた地図帳活用の方法を明示しています。これにより、授業の各場面での地図帳活用の方法がはっきりわかります。

教科書で取り上げている事例地域ごとに、米づくりの観点での地域の特性を紹介しています。教科書の内容に合わせた授業での活用が可能です。

## ③ 活用編

この編では社会科の教科書の配列にあわせて、地図活用の場面をわかりやすく解説しています。ここではp.70～71「米づくりのさかんなところ」を例に具体例を提示いたしました。

また、このほかに各単元を白地図でまとめる「やってみよう」を掲載しています。地図帳を基に見童にまとめさせる方法を明示しましたので、添付の付録「白地図」と併せて、教科書の事例単元をまとめる方法がよくわかります。

## ④ ふろく

ふろくとして、「白地図 (A4判)」「フラッシュカード (都道府県の形をイメージさせるもの)」「白地図データCD-ROM」をご用意いたしました。そのうち、フラッシュカードは、都道府県の形を動物などにたどったイラストをカードとしたものです。たとえば、静岡県が金魚であったり、愛知県がカンガルーであったりという具合に、児童に県の形をイメージさせるのに最適な内容となっております。

以上、指導書の概略をご説明しました。この指導書をご活用頂き、先生方のお授業での地図帳活用の幅を広げて頂くことを心より願っております。